

令和7年 第2回北九州市立図書館協議会 会議録

日 時： 令和7年5月23日（金） 15:00～16:00

場 所： 北九州市立子ども図書館2階 大研修室

出席者

○委員（会長他12名、欠席委員2名）

北九州市立大学図書館長	浅羽 修丈（会長）
（一社）北九州市PTA協議会相談役	福田 百合加（副会長）
北九州市学校図書館協議会会長	上満 佳子
北九州市学校図書館協議会副会長	田丸 陸子
福岡県公立高等学校校長協会北九州地区会長	石川 一仁
（一社）北九州市保育所連盟副会長	伊賀良 昌宏
公募委員	澤野 亜由美
公募委員	尾田村 福太郎
北九州市社会教育委員	宮本 和代
北九州市婦人団体協議会理事	柿内 よし子
北九州市障害福祉団体連絡協議会事務局長	森 聖子
北九州児童文化連盟理事	八木 真恵
（公財）北九州産業学術推進機構	
中小企業支援センターマネージャー	北嶋 知美

○事務局（中央図書館長他9名）

中央図書館長	高松 淳子
中央図書館運営企画課長	藤原 定男
中央図書館奉仕課長	佐藤 時子
子ども図書館長	福嶋 一也
中央図書館運営企画課庶務係長	田中 真徳
中央図書館運営企画課デジタル企画係長	田島 利晃
中央図書館奉仕課奉仕係長	堀尾 節子
中央図書館奉仕課資料係長	山口 典子
子ども図書館企画係長	荒田 智代
子ども図書館学校図書館支援係長	北谷 真司

○傍聴者 1名

会議次第

- 1 はじめに
- 2 新委員及び事務局紹介
- 3 会長選出
- 4 議事（１）令和７年度北九州市立図書館の事業計画について（報告）
- 5 その他報告

1 はじめに

新館長より挨拶

2 会長選出

北九州市立図書館規則第１７条に基づき、会長の選出を行う。委員からの推薦により決定。

会長 北九州市立大学図書館長 浅羽 修丈

3 議事

（１）令和７年度北九州市立図書館の事業計画について（報告）

北九州市立図書館基本計画の推進及び令和７年度北九州市立図書館の事業計画について、資料に基づき、事務局から説明

（委員） 事業計画の基本目標１の３にある「市民のチャレンジ」がビジネス支援と繋がった経緯などがあれば教えてほしい。

（事務局） 例えばビジネスをやろうと思っていらっしゃる市民の中には、どこに相談したらよいか分からない人もいると思われる。図書館が、そのような方々が第一歩を踏み出すきっかけになればよいと思い、ビジネス支援に取り組むことにした。

（委員） 事務局からの説明に補足する。私は普段、経営コンサルタントとして市民の方の経営相談・起業相談の窓口をしているが、図書館への問い合わせとして、「起業したいがどういう手続きをしたらよいか」、「どの本を読んだらよいか」、「この分野の許認可をとるにはどうしたらよいか」といった相談があると聞いた。

昨今、副業ＯＫの会社が増えていることもあり、おうち起業やプチ起業など新たな挑戦をしたいと考える市民にとって、まず経営コンサルタントに相談しようというよりも、図書館で本から知識を得たいという方が多いのではないかと思います。

何かを知りたいと思ったときに市民の方が来やすい図書館という場所でチャレンジを応援できたらということで、この「ビジネス支援のための講座開催」に繋がったのではないかと理解している。

（委員） 北九州市政変革アクションプランとか、そちらからの影響かと思ったが、どうか。

- (事務局) 市の新ビジョンとも連動している。新ビジョンの中の重点戦略に『稼げるまち』の実現」というのがある。その中に「稼げる人を育む」という項目があり、図書館としては、図書館自体が稼ぐということではなく、図書館が持っている資源を生かしながらそういった人材を育てていくことにも繋げていきたい。
- (委員) 事業計画の主な取組内容について、さらに具体的な取組をどこかで見ることができるか。
- (事務局) 具体的な取組内容について、事務局としてはより詳細な計画があるが、今回の資料以上の内容を公表する予定はない。この場でお答えすることはできる。
- (委員) 先日図書館で行われたビジネス支援講演会に参加し、札幌市の図書館の事例を色々と聞かせていただき、とても楽しそうな取組をたくさんされていると思った。例えば、札幌市のその取組の中で、同じような取組をしたいと考えているものはあるか。
- (事務局) 先日、5月16日(金)にビジネス支援の取組の第1弾として、札幌市図書館で勤務されていた浅野氏を講師に招いて講座を開催した。その際、「ハコニワ」といって、司書の方の選定の本をその方のセンスで紹介する期間限定コーナーの取組が紹介されており、中央図書館でも早速、関係者にもアドバイスをいただきながら、ビジネス支援の選書コーナーを作りたいと考えている。
- (委員) 事業計画の基本目標2の3の主な取組の「中央図書館エントランスリニューアル」について、大変なことだと思うがとても期待をしている。
- 中央図書館に入るとシニアの男性が多く利用されている印象を受ける。シニアの方の居場所も大切にしつつ、市民や若い人達の声も聞きながら、一緒にやすらぎ、ほっとする空間をリニューアルしていただきたい。ぜひ力を入れていただきたい。
- (事務局) エントランスリニューアルについて、補足説明する。中央図書館の入り口は、以前は少し雑然とした雰囲気の部分があったところからも考えており、そこを少しでもくつろぎ、やすらげる空間にしたいということで、昨年度から取り組んでいる。
- 今年度は中央図書館開館50周年ということもあり、予算を確保し、ソファやブックラックを追加し、よりくつろげる空間にする取組を行うようにしている。また、トイレも壁紙を明るくするなど、利用しやすい雰囲気を作っていきたい。
- (委員) 基本計画の中で、基本目標2に読書バリアフリー化の推進が挙げられているが、それを忘れずに進めていただくために、事業計画においても、重点でなくてよいので、できれば毎年度「主な取組内容」に入れていただきたい。
- (事務局) 読書バリアフリー化については、毎年度できる範囲で進めてまいりたい。

(委員) DAISY (デージー) について、昨今の聞く本はスマートフォンなどで聞くことができるので、障害がある人もそうでない人も楽しめる。歳をとって視力が弱くなってきた人も聞く読書を楽しめるようにするということは、方針としてあるのか。

(事務局) 中央図書館はサピエ図書館に登録し、2年程前からDAISYデータをダウンロードしてCDを貸出するなどのサービスを行っている。また、利用者の方がAMIS (アミ) というアプリをインストールすれば、CDは不要である。ただし、このサービスを利用するには、読書バリアフリー法上の読書困難者であるなど、一定の条件がある。

(委員) この辺りはICT機器などもうまく活用して、さらに利用しやすいような図書館を目指していただけたら。

(委員) しんとした図書館から来館した人が少し話をしてもよいような図書館へ、具体的な取組はまだかもしれないが、今後そのような図書館になっていくと良いと期待をしている。

また、基本目標1の1や1の3で挙げられている講座開催について、先程事務局からも「ハコニワ」の紹介があったように、その講座に際し、司書の方が力を発揮した関連本の紹介などがあれば、「こういう本を読んでみようかな」という貸出に繋がって、図書館がより活用されてよいと思う。

さらにこれはお知らせだが、北九州市PTA協議会では、こどもから大人まで多世代の人が交流できる「多世代交流『未来カフェ』」という取組を行っている。この取組を図書館で無料で行うこともできるので、よければお声かけください。

(委員) やはり図書館として、利用者が情報を取りに来るというよりは、図書館側からアプローチする「プッシュ型」を目指すというのも、利用者が利用しやすい図書館に近づくのではないかと感じる。

4 その他報告

北九州市子ども読書プラン（第5次北九州市子ども読書活動推進計画）の策定予定について、事務局から説明